



第47回地球大学アドバンス

2011.12.19 (月)

[コミュニティ・セキュリティの再構築] シリーズ⑦

東北の食と農—21世紀型の生命地域産業の創生にむけて

基調講演

藤田和芳 氏

大地を守る会 会長

パネリスト

楠本修二郎 氏

カフェ・カンパニー(株) 代表

古田秘馬 氏

六本木農園 代表

企画・司会

竹村 真一

京都造形芸術大学 教授

Earth Literacy Program 代表

エコツェリア・コンテンツプロデューサー

2011年は日本、特に東北の食と農の価値を再発見する年となりました。

東日本大震災および原発事故による放射能汚染の影響は決して小さくはない。長引く風評被害も、日本の食が世界的なブランド価値を持ち始め、高付加価値の輸出産業としての展望が開けつつあった段階での大きな打撃でしょう。

しかしそれ故に3.11は、逆説的に東北の食と農の価値を見える化し、その再生を“日本新生”にむけた国民的課題として私たちが意識化し直すきっかけともなりました。

戦後の復興と経済高度成長のなかで「労働力」と「電力」と「食糧」を首都圏に提供し続けるという非対称なシャドウワーク——こうした20世紀的な文脈を超えた新たな地平で、東北の食と農をどう再生するか?“森は海の恋人”(畠山重篤氏)に象徴されるように、農/林/水産業の縦割りを超えて地域の真の富を再生産してゆくような生命地域産業のデザインを、新たな東北と日本の創生の基盤となしうるか? また、そうした地域自立型・環境創生型の東北復興に、首都圏の私たちはどのような形で参加・協働しうるのか?

今回は自らも東北出身であり、「大地を守る会」代表として首都圏数万人の消費者と東北の生産者をつなげつつ復興支援してきた藤田和芳会長に、東北再生への思いを存分に語って頂きます。また復興直後から「食」の交流・交歓を通じて、首都圏と東北の生産者を結ぶ独自の支援活動を展開してきた食のプロデューサーお二人に、これまでの8カ月の経験と今後の展望をお話いただきます。

11月の地球大学「食糧争奪の現在」でも触れたように、世界の食と農をめぐる状況が急速に逼迫しつつあります。日本の食糧安全保障の観点からも、またT P Pも含めたグローバル経済のなかでの日本の農林水産業の再構築という観点からも避けては通れない、「東北の食と農の再生」という重要課題を皆さんと考えてみたいと思います。

開催概要

日時：2011年12月19日(月曜日)

18:00 受付開始 / 18:30 開演 / 20:30 終了
20:30 - 22:00 懇親会を予定しています

企画・司会：竹村真一

京都造形芸術大学教授

Earth Literacy Program 代表

エコツェリア・コンテンツプロデューサー

会場：新丸ビル10階「エコツェリア」

地図：<http://ecozeria.jp/access.htm>

定員：50名(先着順：定員になり次第締め切りとさせていただきます)

参加方法：事前登録が必要です 以下のURLからお申し込みください
<http://www.ecozeria.jp/earth/>

参加費：2000円

ただし、エコツェリア会員企業に所属の方は無料です
(照会いたしますので、名刺または社員証をお持ちください)

地球大学アドバンスとは？

竹村真一がモデレートする、地球環境に関するさまざまな問題や解決法を議論しながら、21世紀の新たな地球観を提示するセミナーです。環境・資源・生物多様性・まちづくりなど、さまざま分野の第一線で活躍する研究者や実務家をゲストに招き、毎回、2時間にわたって発表と参加者のみなさまも交えた討議を行っています。2007年から毎月一回、新丸ビル10階のエコツエリアで開催されており、今年度までに40回を超えるセミナーが開催されています。

2011年度[コミュニティ・セキュリティの再構築]シリーズとは？

地球大学アドバンスは年度毎にテーマを設定しており、今年度は[コミュニティ・セキュリティの再構築]がテーマです。

このテーマは、3.11東日本大震災が露わにした、現代社会の潜在的な脆弱性とリスクを明らかにしながら、日本社会、特に私たちが住んでいる東京の自己変革の方向性を討議するために設定しました。扱う内容は、起こりうる災害の規模と対策、ポスト原発時代のエネルギー安全保障、帰宅・通勤困難者問題、減災情報システム、都心部のタウンマネジメントとコミュニティ・セキュリティデザインなどです。また、地震や津波に対する防災・減災だけではなく、今後の気候変動や資源制約への適応力も備えた“変動に強い都市と国家を再構築する”という広い視点も、このテーマに含まれています。

過去の地球大学アドバンス[コミュニティ・セキュリティの再構築]シリーズのタイトルとゲスト

詳細はWEB [<http://www.ecozzeria.jp/earth/>] をご覧ください。

第41回 2011.6.30(木)

2011年度基調講演 “3.11から未来へ”

基調講演：竹村 真一

第42回 2011.7.25(月)

首都圏大震災― 予防減災への課題

ゲスト：高嶋 哲夫氏(作家、『M8』『TSUNAMI』『東京大洪水』『巨大地震の日』(全て集英社)など執筆)

第43回 2011.8.22(月)

“3.11”後のエネルギー政策をめぐって

ゲスト：植田 和弘氏(京都大学大学院経済学研究科・大学院地球環境学教授)

第44回 2011.9.26(月)

企業の災害対応能力とBCP(事業継続計画)

ゲスト：山村 武彦氏(防災・危機管理アドバイザー 防災システム研究所所長)

第45回 2011.10.24(月)

日本経済再生計画― 震災とデフレを超えて

ゲスト：藻谷 浩介氏(日本政策投資銀行 参与 『デフレの正体』著者)

第46回 2011.11.28(月)

待ったなし!食糧安全保障―“食糧争奪”の現在

ゲスト：柴田 明夫氏(資源・食糧問題研究所 代表 『食糧争奪』著者)

地球大学講義録 発売中!

竹村 真一＋丸の内地球環境倶楽部
日本経済新聞出版社 刊
ISBN: 978-4532167967

石油にも原発にも依存しない21世紀のエネルギー安全保障をどうデザインするか? 洪水や津波、海面上昇…沿岸の低い土地に大都市が集中する日本の水害リスクにどう対処するか? 3人に1人が高齢者となる時代、交通弱者や災害弱者を増やさない都市と社会のあり方とは? エネルギー、気候変動から都市災害、水と食、生物多様性まで、第一線の専門家・実務家をゲストに行われた、地球大学の講義ライブを一冊に。

